

地方からの挑戦

「コロナの呪縛から解き放たれて、お寺巡りを再開した。車を走らせ関西や山陽路の街を訪れるのだが、ちょっとした街では必ずと言っていいほどイオンの看板を目にする。

そして街道沿いでは青山、はるやまの巨大看板が競い合い、お馴染みのウエルネス、コスモスが店を構え、COCO壱番屋、丸亀製麺、来來亭などの飲食店が賑わっている。いずれも全国展開しているお店で、松江でも見かけるお店ばかりである。

ところでこれらのお店には共通点がある。創業の地や本店所在地がいずれも地方都市なのだ。イオンは三重県四日市、青山は広島県府中、はるやまは岡山県玉野、ウエルネスは広島、コスモスは宮崎県延岡、COCO壱番屋は愛知県清須、丸亀製麺は兵庫県加古川、来來亭は滋賀県野洲だ。

この他にもヤマダ電機は前橋、百万ポルトは福井、ユニクロは宇部、ニトリは札幌、メガネの三城は姫路だ。いずれも地方の小さな小売店からビッグネームに成長した。更にトヨタ、ホンダ、ヤマハ、パナソニックなど日本を代表する製造業も、地方都市で産声を上げた。

翻って我が松江の状況を見ると、東京靴とめのやが全国展開している。しかし、今年に入り一畑百貨店の閉店決定や、老舗の楽器店、蒲鉾店が相次いで暖簾を降ろすなど、暗いニュースが続く。縮小する経済を立て直すには外貨の獲得、即ち地域外のお金を松江に持ち帰ることが重要だ。

この松江の地から全国にはばたく野心的な経営者の出現を期待している。

